

天皇のお金

明治から戦後まで

天皇や皇族が活動するには、当然のことですが、お金が必要になります。たとえば、近現代の天皇は、恩賜金の支出や行幸啓といった形でしばしば社会と関わりを持ちましたが、それは財政的な裏付けがあったからこそできたことです。こうした皇室における財政のあり方は、歴史的にどのように展開してきたのでしょうか。また近代の皇室は広大な山林や農地を所有していましたが、こうした土地の経営や処分はどのようになされたのでしょうか。あるいは、日清戦争の賠償金の一部が皇室財産に編入されたのはなぜでしょうか。

講師の加藤祐介さんは、公文書管理法によって利用可能となった宮内庁宮内公文書館の資料を用いて、これまで把握しづらかった皇室の財政を明らかにしてきました。

「天皇のお金」という切り口から、皇室と「国民」の関係、近代と戦後における皇室制度の違い、あるいは天皇制と民主主義という問題についても考えます。ぜひご参加ください。

日時：2025年2月11日(火) 14:00~16:30

お話し：加藤 祐介さん

会場：wam オープンスペース(定員40名/予約・先着順)

参加費：1000円(wam 会員。非会員は1200円)



*オンラインは翌日夕方以降のオンデマンド配信(2週間)になります。

お申し込みは左記二次元コードから Google フォームで、wam 事務局にメールをくだされば URL をお送りします。会場参加のみ電話での申し込みも可能です。



【ゲスト紹介】かとう・ゆうすけ

1986年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科専任講師。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了、博士(社会学)。専門は近現代日本における天皇と国家の関係で、政治史や法制史だけでなく、経済史や民衆史にも広く関心を持って研究に取り組む。単著に『皇室財政の研究—もう一つの近代日本政治史』(名古屋大学出版会 2023年)、共著に『歴史の蹊、史料の杜—史資料体験が開く日本史・世界史の扉』(風間書房、2023年)ほか。論文に「皇室財産課税問題の展開—1890-1920年」『歴史学研究』(2017年9月)など多数。

wam セミナー 天皇制を考える

wam は、「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)から20年の節目にあたって、2020年9月から天皇由来の「祝日」のうち4日間を「祝わない」ために開館することにしました。天皇の戦争責任・植民地支配責任を問い、天皇制を維持してきた責任を見つめなおすために、タブーなく天皇制について議論できる「場」をつくっていきます。

■これまでのセミナー

第1回 2020年11月3日

テーマ：叙勲・お言葉・思いやり…天皇と「国民」を結ぶもの—「明治節」に考える—
お 話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第2回 2021年2月11日

テーマ：桜の国の悲しみ、菊の国への抗い—「紀元節」に伝えておきたいこと
お 話：石川逸子さん(詩人)

第3回 2021年2月23日

テーマ：「歌会始」が強化する天皇制—序列化される文芸・文化
お 話：内野光子さん(歌人)

第4回 2021年4月29日

テーマ：「昭和の日」に記憶する天皇の戦争責任～近年の研究成果から学ぶ
お 話：山田朗さん(明治大学平和教育登戸研究所資料館館長)

第5回 2021年11月3日

テーマ：近代天皇と家族の表象
お 話：北原恵さん(大阪大学元教員)

第6回 2022年2月11日

テーマ：近代天皇制がつくってきた差別—水平社宣言から100年を機に考える
お 話：黒川みどりさん(静岡大学教員)

第7回 2022年4月29日

テーマ：天皇と戸籍
お 話：遠藤正敬さん(早稲田大学台湾研究所非常勤次席研究員)

第8回 2022年11月3日

テーマ：撃ちてし止まむ！
お 話：池田浩士さん(京都大学元教員)

第9回 2023年2月11日

テーマ：天皇制と仏教
お 話：源淳子さん(仏教・ジェンダー研究)

第10回 2023年4月29日

テーマ：植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪(準備編)
映画上映：『あんによん・サヨナラ』(監督：金兌鎰、共同監督：加藤久美子/2005年/107分)
アフタートーク：南相九さん(東北アジア歴史財団研究政策室長)

第11回 2023年5月25日

テーマ：植民地責任から問う 靖国神社、合祀の罪
お 話：李熙子さん(太平洋戦争被害者補償推進協議会代表)

第12回 2023年11月3日

テーマ：日本の近現代史からみる 天皇制と勲章
お 話：栗原俊雄さん(毎日新聞専門記者)

第13回 2024年2月11日

テーマ：「国民」が支える象徴天皇制—なぜ天皇制に終止符が打てないのか
お 話：伊藤晃さん(千葉工業大学元教員)

第14回 2024年4月29日

テーマ：女のからだと天皇制—墮胎罪と「不良な子孫」の出生防止
お 話：大橋由香子さん(フリーライター・編集者)

第15回 2024年11月3日

テーマ：「皇国史観」はどう作られたか—文部省の思想統制政策と歴史家の責任
お 話：長谷川亮一さん(立教大学日本学研究所研究員)

会員になりませんか？

●友の会年会費：3,000円 ●維持会員年会費：10,000円

会員にはニュースレター(年3回)のほかイベント案内などを逐次お知らせします。維持会員は入館料無料。各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号：00110-2-579814

口座名称：「女たちの戦争と平和人権基金」係

wam

アクティブ・ミュージアム

女たちの戦争と平和資料館

women's active museum on war and peace

開館時間：金・土・日・月 13:00~18:00

2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は「祝わない」ため閉館

休館日：火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)

※時間外の団体来館はご相談ください。
※展示入れ替え期間と年末年始は休館となります。

入館料：18歳以上 500円

18歳未満 300円

小学生以下 無料

※障害のある方の付き添いは無料です。

東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F 〒169-0061

T:03-3202-4633 F:03-3202-4634 E:wam@wam-peace.org

URL: https://wam-peace.org Twitter: @wam_peace

